



平成 17 年 3 月期 第 1 四半期財務・業績の概況（連結）

平成 16 年 8 月 3 日

上場会社名 横河電機株式会社

（コード番号：6841 東証第一部）

（URL <http://www.yokogawa.co.jp>）

問合せ先 代表者役職・氏名 代表取締役社長 内田 勲
責任者役職・氏名 広報・IR室長 岡部 正俊

T E L : (0422) 52 - 5530

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
・法人税等の計上基準は、法定実効税率をベースとした簡便な方法により計算しております。
最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無
連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有
連結（除外）1社

2. 平成 17 年 3 月期第 1 四半期財務・業績の概況（平成 16 年 4 月 1 日～平成 16 年 6 月 30 日）

(1) 経営成績（連結）の進捗状況

（百万円未満切捨）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
17年3月期第1四半期	76,399	12.8	1,636		1,409		307	
16年3月期第1四半期	67,749	15.2	2,091		2,047		3,447	
(参考)16年3月期	371,943		18,255		15,339		24,300	

	1株当たり四半期(当期)純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
17年3月期第1四半期	1.26	1.24
16年3月期第1四半期	14.19	
(参考)16年3月期	99.84	96.66

(注)売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期比増減率を示しております。

[経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等]

当第1四半期における当社グループの連結売上高は763億円と、前年同期に比べ86億円(12.8%)の大幅な増収となりました。また、営業利益・経常利益・当期純利益につきましても、売上の増加に加えて、コスト構造改革への取り組みの成果が着実に現れてきていることにより、それぞれ16億円(前年同期に比べて37億円の改善)14億円(前年同期に比べて34億円の改善)3億円(前年同期に比べて37億円の改善)と大幅に改善する結果となりました。

当社グループの売上高は、特に制御ビジネスにおいて中間期末(9月)と年度末(3月)に集中する傾向が強いため、第1四半期及び第3四半期は通期売上高に対する売上高比率は低く推移する傾向がありましたが、当第1四半期は計測ビジネス及び海外制御ビジネスが牽引し売上が増加したことにより、利益が大きく改善しました。

具体的には、計測ビジネスの主要分野である半導体関連市場において、半導体メーカーの設備投資が旺盛に推移したことにより、半導体テストビジネスが売上に大きく伸ばしました。特にメモリテスト分野では新規顧客を獲得するなど売上に大きく伸ばし、計測ビジネス全体を牽引しました。また、制御ビジネスについても、海外市場において、石油・石油化学・天然ガス等のプラント建設が数多く計画されるなど前期に引き続き好調に推移したことに加え、国内市場の設備投資も堅調で、売上の伸びに貢献しました。

(2) 財政状態（連結）の変動状況

（百万円未満切捨）

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
17年3月期第1四半期	393,308	160,263	40.7	658.77
16年3月期第1四半期	351,472	129,184	36.8	531.64
(参考)16年3月期	397,415	160,346	40.3	658.97

【連結キャッシュ・フローの状況】

（百万円未満切捨）

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
17年3月期第1四半期	11,418	5,885	1,094	38,810
16年3月期第1四半期				
(参考)16年3月期	8,299	10,171	11,353	34,417

(注) 当四半期より連結キャッシュ・フローの状況の開示を行っているため、前年同四半期については記載していません。

〔財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等〕

当第1四半期末の財政状態は、前年度末（平成16年3月末）との比較において、以下のとおりとなりました。

総資産は現金及び預金が44億円、棚卸資産が118億円、またその他流動資産が42億円増加したものの、売掛債権等が242億円減少したこと等により、3,933億円と41億円減少しました。負債は、主に長期借入金が31億円減少したこと等により2,293億円と38億円減少しました。株主資本は1,602億円となり、この結果、株主資本比率は40.7%、有利子負債株主資本比率は62.0%となっております。

なお、当社は、中間期末（9月）及び年度末（3月）に売上が増加する傾向にあるため、売掛債権残高は第1四半期末において年度末に比べ減少する傾向にあります。

（キャッシュ・フローの状況）

当第1四半期末における現金及び現金同等物の残高は前年度末より43億円増加し388億円となりました。各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりとなりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは114億円の収入となりました。これは主に棚卸資産が増加（120億円）したものの、売上債権が減少（225億円）したことによるものです。投資活動によるキャッシュ・フローは58億円の支出となりました。これは有形固定資産取得による支出（55億円）によるものです。財務活動によるキャッシュ・フローは10億円の支出となりました。これは主に配当金の支払いによるものです。

〔参考〕平成17年3月期の連結業績予想（平成16年4月1日～平成17年3月31日）

中間期、通期とも平成16年5月11日に公表しました業績予想に変更はありません。

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益
	百万円	百万円	百万円
中間期	180,000	8,000	3,000
通期	400,000	25,000	15,000

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社グループが判断したものであり、為替変動等の潜在的なリスクや不確実性が含まれています。この影響のため、実際の業績が記載の見通しとは異なる可能性があります。

以上

〔添付資料〕

1 .(要約) 四半期連結貸借対照表

区分	当四半期 (平成17年3月期 第1四半期末)	前年同四半期 (平成16年3月期 第1四半期末)	増 減		(参考) 平成16年3月期
	金額(百万円)	金額(百万円)	金額 (百万円)	増減率 (%)	金額(百万円)
(資産の部)					
流動資産					
現金及び預金	39,363	38,857			34,962
受取手形及び売掛金	92,726	80,371			116,964
棚卸資産	63,939	59,772			52,050
その他	26,836	20,589			22,588
流動資産合計	222,864	199,590	23,274	11.7	226,566
固定資産					
有形固定資産	78,297	74,570			77,951
無形固定資産	12,846	11,741			13,667
投資その他の資産	79,300	65,570			79,229
固定資産合計	170,444	151,882	18,561	12.2	170,848
資産合計	393,308	351,472	41,836	11.9	397,415
(負債の部)					
流動負債					
支払手形及び買掛金	30,892	28,147			38,879
短期借入金	12,953	29,027			10,150
その他	61,451	69,865			55,995
流動負債合計	105,297	127,041	21,744	17.1	105,026
固定負債					
社債	50,000	20,000			50,000
長期借入金	36,335	27,046			39,459
退職給付引当金	16,243	40,073			16,220
その他	21,505	4,797			22,540
固定負債合計	124,085	91,917	32,167	35.0	128,220
負債合計	229,382	218,958	10,423	4.8	233,247
(少数株主持分)					
少数株主持分	3,663	3,329	333	10.0	3,821
(資本の部)					
資本金	32,306	32,306	-	-	32,306
資本剰余金	35,446	35,255	191	0.5	35,445
利益剰余金	98,552	72,623	25,929	35.7	99,210
その他有価証券評価差額金	8,078	1,780	6,297	353.7	7,325
為替換算調整勘定	6,048	4,795	1,252	-	5,896
自己株式	8,072	7,985	87	-	8,046
資本合計	160,263	129,184	31,078	24.1	160,346
負債、少数株主持分及び資本合計	393,308	351,472	41,836	11.9	397,415

2.(要約)四半期連結損益計算書

区分	当四半期 (平成17年3月期 第1四半期)	前年同四半期 (平成16年3月期 第1四半期)	増減		(参考) 平成16年3月期
	金額(百万円)	金額(百万円)	金額 (百万円)	増減率 (%)	金額(百万円)
売上高	76,399	67,749	8,649	12.8	371,943
売上原価	48,249	43,629	4,619	10.6	241,405
売上総利益	28,150	24,119	4,030	16.7	130,538
販売費及び一般管理費	26,513	26,211	301	1.2	112,282
営業利益又は営業損失	1,636	2,091	3,728	-	18,255
営業外収益	902	620	282	45.4	4,210
営業外費用	1,130	576	553	96.0	7,125
経常利益又は経常損失	1,409	2,047	3,456	-	15,339
特別利益	81	147	65	44.8	6,167
特別損失	890	1,174	283	24.2	17,032
税金等調整前四半期(当期) 純利益又は純損失	600	3,074	3,675	-	4,475
税金費用	199	323	124	38.4	20,562
少数株主利益(控除)	93	49	44	90.9	736
四半期(当期)純利益 又は純損失	307	3,447	3,754	-	24,300

3.(要約)四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	当四半期 (平成17年3月期 第1四半期)	(参考) 平成16年3月期
区 分	金額(百万円)	金額(百万円)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期(当期)純利益	600	4,475
減価償却費	3,299	13,455
賞与引当金の増加額	5,725	2,886
売上債権の増減額	22,567	9,474
たな卸資産の増加額	12,017	8,112
仕入債務の増減額	5,928	7,871
その他	3,106	441
小計	11,139	10,661
利息及び配当金の受取額	1,567	1,518
利息の支払額	173	1,122
法人税等の支払及び還付額	1,115	2,757
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,418	8,299
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	5,534	13,723
有形固定資産の売却による収入	90	4,968
無形固定資産の取得による支出	784	5,526
投資有価証券の取得による支出	14	2,592
投資有価証券の売却による収入	6	5,478
その他	351	1,224
投資活動によるキャッシュ・フロー	5,885	10,171
財務活動によるキャッシュ・フロー		
コマーシャルペーパーの純減少額	-	35,000
長期借入による収入	1	15,000
社債の発行による収入	-	30,000
社債の償還による支出	-	20,253
配当金の支払額	846	1,822
その他	248	721
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,094	11,353
現金及び現金同等物に係る換算差額	45	481
現金及び現金同等物の増減額	4,393	13,707
現金及び現金同等物の期首残高	34,417	47,809
連結範囲変更に伴う現金及び現金同等物の増加高	-	314
現金及び現金同等物の期末残高	38,810	34,417